

蓬左文庫

同時開催 企画展

ひなを

楽しむ

旧家の
ひな飾り

江戸時代以降の町なかを飾った
お雛さまは、素朴で身近な親しみ
やすさがあります。徳川美術館に
寄贈された様々なお雛さまを中心
に紹介します。



Enjoying Hina Dolls
-The Doll Festival of
Established Families-

- ①「紙雛(高松)」昭和時代 20世紀 個人蔵
- ②「享保雛」江戸時代 18-19世紀 個人蔵
- ③「木目込雛」昭和時代 20世紀 越智恵津子氏寄贈
- ④「御殿雛飾り」明治時代 19世紀 志村正・恵子氏寄贈

徳川美術館

特別展
尾張
徳川家の

ひなまつり

大正天皇ゆかりのお人形
特別公開



The Doll Festival
of the Owari Tokugawa Family 2018



【特別公開】

千利休《泪の茶杓》
2/24(土) - 3/4(日)

2018年
2月3日(土)
4月8日(日)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日：月曜日(2/12(月・祝)は開館、翌2/13(火)は休館)
観覧料：一般1400円、高大生700円、小中生500円
※20名様以上の団体は一般2000円、その他1000円割引 ※土曜日は小中高生入館無料
主催：徳川美術館・名古屋蓬左文庫・中日新聞社 協力：名古屋交通局
問合わせ先：徳川美術館 TEL(052)93516262
名古屋蓬左文庫 TEL(052)93512173
〒461-0023 名古屋市中区徳川町



徳川園催事

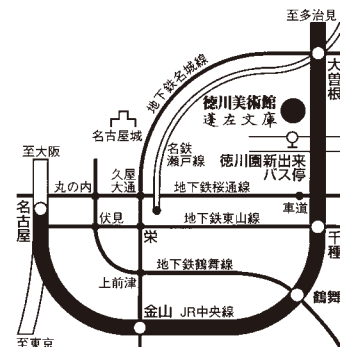
花を誘う 徳川園の梅、桃、桜
2/24(土) - 4/1(日)



次回予告

春季特別展 明治150年記念
華ひらく皇室文化 — 明治宮廷を彩る技と美 —
4/17(火) - 5/27(日)

菊御紋卓布 京都・大聖寺門跡蔵



●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●JR中央線「大曾我駅」下車南口より徒歩10分

特別展 尾張の雛まつり展 徳川家の雛



イベント案内 お問い合わせ 052-935-6262 お申し込みは往復はがき・[FAX]052-935-9444・[Email]taiken@tokugawa.or.jp のいずれかで受付

尾張徳川家の雛まつり 満喫プラン
 学会員による特別展の解説お抹茶と和菓子体験
 (開香または貝あわせ)をセットにしたお得なプログラムです。
 日時/2月22日(木)・23日(金)・24日(土)
 各日午前10時~午後1時30分
 参加費/一般2500円、
 高校生以下1500円
 ※申込制 各日先着20名
 ※プラス2500円の特別価格で宝善亭「雛御膳」をお付けできます。

オリジナル香袋・文香をつくる
 講師/春香堂 社長 小川薫氏
 日時/2月25日(日)
 午前の部 午前11時~12時
 午後の部 午後2時~3時
 参加費/1800円(入館料別)
 ※申込制(各先着60名)

玄関ロビーで雛まつり
 ●名古屋の老舗人形店・
 大西人形本店の雛人形七段飾り
 ●雛人形の顔出しパネル
 【特別企画】
目で見る雛まつり
 ―十二単着装公開―
 一般財団法人民族衣裳文化普及協会による着付・解説で、公家女子の正装「十二単」の着付けをご覧いただきます。
 お話/一般財団法人民族衣裳文化普及協会 理事 武田富枝氏
 演奏/生田流宮城会 大師範 早川恵子氏
 日時/3月3日(土)
 午前の部 午前11時~12時
 午後の部 午後2時~3時
 会場/講堂 ※入館者見学自由



スライドレクチャー
 雛まつり展を学会員がスライドで解説します。
 日時/3月6日(火)・24日(土)
 各回午後1時~1時30分
 会場/講堂 ※入館者聴講自由

トークショー
 「うれしい雛まつり」
 講師/創業明治15年 大西人形本店 店長 大西嘉一郎氏
 日時/2月17日(土)
 午前10時30分~12時
 会場/講堂 ※入館者聴講自由

雛御膳
 展覧会会期中、当館庭園内の「玉善亭」にて、春の彩りを盛り込んだ懐石風お弁当「雛御膳」を数量限定で用意いたします。
 2800円(消費税別)
 TEL:05229327887



【運携企画】
 ガーデンレストラン徳川園
 尾張徳川家の雛まつりスペシャルランチコースをご用意
 5500円(消費税別)
 TEL:05229327887
 ※宝善亭、ガーデンレストラン徳川園は事前のご予約をお勧めします。
文化のみち 雛まつりスタンプラリー
 平成30年2月3日(土)~3月11日(日)
 徳川美術館・徳川園・蓬左文庫・名古屋城・文化のみち 極楽寺・文化のみち 薬師寺・名古屋陶磁器会館を巡ってスタンプを集めると内裏雛飾りが完成します。
日本遺産認定記念
 第17回陶磁のまち 瀬戸のお雛めぐり
 瀬戸蔵の高さ4m・11段の「ひなミッド」に並んだ約1000体の陶磁器・ガラスの創作雛は見ごたえ満点！瀬戸蔵に徳川美術館入館券をお持ちいただいた方に「ちよこっ」とプレゼントを差し上げます。
 【日程】2月3日(土)~3月4日(日)
 【会場】瀬戸蔵ほか
 【問い合わせ先】瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会
 TEL:0561852730



徳川美術館には、尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形や雛道具が伝来しており、いずれも御三家筆頭の名にふさわしい質の高さを誇っています。
 また、所狭しと雛人形や雛道具が並べられる明治・大正・昭和の雛段飾りは、高さ2メートル、幅7メートルにもおよび圧巻です。大名家ならではの、豪華で気品ある雛の世界を紹介します。

- ①「尾張徳川家三世の雛段飾り」明治・大正・昭和時代 20世紀
- ②「菊折枝時絵雛道具 三棚飾り」俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用 江戸時代 19世紀
- ③「大張子」江戸時代 18世紀 建中寺蔵
- ④「合具(菊折枝時絵貝桶附属)」俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用 江戸時代 19世紀
- ⑤「御所人形」徳川米子(尾張家19代義親夫人)所用 20世紀
- ⑥「毛作り人形 犬」徳川米子(尾張家19代義親夫人)所用 20世紀
- ⑦「菊折枝時絵雛道具 乗物」俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用 江戸時代 19世紀
- ⑧「市松人形」瀧沢光龍斎作 昭和時代 20世紀
- ⑨「有職雛」貞徳院姫姫(尾張家14代慶勝正室)所用 江戸時代 19世紀



土曜講座 各日午後1時30分~午後3時 ※有料
2/10(土) 「香の文化」 学芸員 安藤香織
3/10(土) 「雛さまざま」 学芸部長 四辻秀紀